

E-Post Secure Handler (x64) の機能一覧

- 1 外部から届けられるインバウンドメールのうち、安全なメールのみ通すセキュアな純国産メールゲートウェイ
- 2 ホワイトリストとブラックリスト以外のメールは一時保留され、管理者がブラウザやメーラーで受信拒否か受信許可かを判断可能
- 3 一時保留したメールは23個のチェック項目で判定、不審メールと判断されるポイントをわかりやすく表示
- 4 怪しい添付ファイルや未知のウイルスメールでもアンチウイルスベンダーの最新情報が集積しているウイルストータルサイトでチェック可能
- 5 許可されたメールはホワイトリストへ、拒否されたメールはブラックリストへそれぞれのデータテーブルに自動登録
- 6 いったん拒否したが後で必要なメールだとわかった場合にもその場で回復が可能
- 7 管理者がいちいち判断して作業する手間を省くため、許可/拒否を自動的に機械判定させるコマンドを用意、継続的な自動処理が可能
- 8 スпамサイトや危険サイトの最新データのダウンロード機能が装備、拒否リンク一覧テーブルによりスパムサイトのリンク情報をチェック、拒否させることが可能
- 9 SMTPゲートウェイE-Post SMTP Server (x64) を標準装備、SMTPエンジンからWeb管理ツールまですべてオリジナルの純国産
- 10 数多くの導入実績を誇る64bit対応のWindows版メールサーバソフトウェア E-Post Mail Server (x64)との組み合わせに最適

E-Post Secure Handler (x64) 機能一覧表	
機能	機能詳細
メール保留条件 (ハンドリングルール)	<ul style="list-style-type: none"> ・エンベロープの受信先 (ドメイン・アカウント) ・エンベロープの送信元 (ドメイン・アカウント) ・メールヘッダの受信先 (ドメイン・アカウント) ・題名でのキーワード ・リンク情報 (本文掲載のURL) ※いずれも複数指定 (ワイルドカード指定) 可
判定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・保留メール通知からのメールによる許可・拒否判定操作 ・ブラウザから保留メール閲覧による許可・拒否判定操作 (*1) ・アプリによる許可・拒否自動判定 (*2) (*3)
強制拒否 (ブラックリスト)	<ul style="list-style-type: none"> ・送信元エンベロープの登録・削除・閲覧 (システム・ブラウザ) ・題名の登録・削除・閲覧 (システム・ブラウザ) ・リンク情報 (本文掲載のURL) の登録・削除・閲覧 (システム・ブラウザ) (*4) ※いずれも複数指定 (ワイルドカード指定) 可
強制許可候補確認	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリにより許可判定された送信元エンベロープ・題名を直接リスト登録せず目視による操作で最終判定
強制許可 (ホワイトリスト)	<ul style="list-style-type: none"> ・送信元エンベロープの登録・削除・閲覧 (システム・ブラウザ) ・題名の登録・削除・閲覧 (システム・ブラウザ) ・リンク情報 (本文掲載のURL) の登録・削除・閲覧 (システム・ブラウザ) ※いずれも複数指定 (ワイルドカード指定) 可
メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・判定待ちリストの取得機能 (承認者) ・履歴の取得・履歴の削除 (管理者のみ) ・許可・拒否の結果履歴ログ (システム)
拒否メール 判定回復機能	<ul style="list-style-type: none"> ・判定ミス等で一旦拒否されたメールを許可メールとして回復 (ブラウザ)

(*1) ブラウザによる保留メール閲覧による許可・拒否判定時には、23個のチェック項目によって不審メールと判断されるアドレス情報が表示されます。不審な添付ファイルがある場合、VirusTotal (ウイルストータル) サイトでのウイルス・マルウェア検査を行うよう促します。
 (*2) 定期的に自動判定を行う場合は、自動実行するコマンドを呼び出すバッチファイルが用意されていますので、そのバッチファイルでOSで用意されているタスクスケジューラへ登録する必要があります。アプリによる許可・拒否自動判定を行うコマンドは次年度更新継続が前提です。
 (*3) 自動判定実行時には、弊社独自に用意したスパムリンクデータベースが運用マシン上にダウンロードされます。利用には100MB程度の空き領域が必要となります。データベースダウンロードは次年度更新継続が前提です。
 (*4) 自動判定実行時にダウンロードされたスパムリンクデータベースは、拒否リンク一覧テーブル (リンク情報のブラックリスト) に自動的に反映され、スパムメールや危険なメールを拒否する判定目的に利用されます。

E-Post SMTP Server Standard (x64)	
SMTPサーバ機能	E-Post SMTP Server Standard (x64) (*5) 標準装備

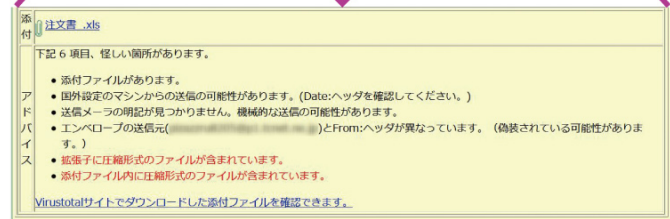
(*5) E-Post SMTP Server Standard (x64) の機能や動作環境については、別ページの E-Post Mail Server (x64) ・ E-Post SMTP Server (x64) 機能一覧表をご参照ください。

動作環境	
対応OS	Windows Server 2008 / 2008 R2 / 2012 / 2012 R2 / 2016 (*6)
組み込み可能なE-Post製品	64bit版 E-Post SMTP Server (x64) ・ 64bit版 E-Post Mail Server (x64) (*7)
内部メールサーバ	E-Post Mail Server (x64) シリーズその他、RFC1に準拠した他社製メールサーバ
対応ブラウザ (許可・拒否・回復等)	Microsoft Edge、Internet Explorer、Mozilla Firefox、Google Chromeなど主要ブラウザ
対応メールクライアント (許可・拒否)	Outlook Express、Windows Mail、Microsoft Outlook、Lotus Notes8.5、Mozilla Thunderbird、Becky!、Shukun などRFCで規定されているmailtoリンクがフルに使用可能な主要メールクライアントソフト mailtoリンクの動作が保証されないWebメールでは対応が困難なことがあります。

(*6) 64bitネイティブ対応版は、64bitアプリケーションプログラムとして動作します。Windows Serverのエディションは利用制約の少ないStandardエディション以上をお薦めします。
 (*7) CPUやメモリなど必要ハードウェア環境はこれらのE-Post製品の動作推奨環境に準じます。なおE-Post BossCheck Option (x64)とは併用しないでください。



メール承認管理 一覧 (回復)					
選択	添付	題名	日付	送信元	送信先
<input type="checkbox"/>		LINE安全確認	Mon, 2 Jul 2018 10:11:14 +0800	"LINE" <line@line.me>	"line@line.me"
<input type="checkbox"/>		invoice/経理	Mon, 2 Jul 2018 08:13:33 +0700	"invoice" <invoice@line.me>	"line@line.me"
<input type="checkbox"/>		万葉集再考	Mon, 2 Jul 2018 01:41:37 +0100	"万葉集再考" <wanyosho@line.me>	"line@line.me"
<input type="checkbox"/>		LINEはじめ	Mon, 2 Jul 2018	"LINEはじめ" <line@line.me>	"line@line.me"



▲ Secure Handlerの管理画面

お問い合わせは……

開発・販売元

株式会社イー・ポスト

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-33-14 サンフラワービル
 TEL: 03-5272-5386 FAX: 03-5286-2610

<https://www.e-postinc.jp>

問合せは sales@e-postinc.jp